



# ぼうさいあいち

会報 27号 (夏だより)

発行日 令和4年 8月 1日

特定非営利活動法人  
愛知県防災士会

## 新年度スタートに向けて

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は愛知県防災士会の活動に格別なご理解  
ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止の観点で

「令和2年度、令和3年度通常総会」が開催  
できず書面による決議となり誠に残念でした  
が「令和4年度NPO法人愛知県防災士会通  
常総会」は3年振りの開催となりました。

その中で会員の皆様より貴重なご意見を頂き、  
今後の活動に役立てて参りたいと思います。



NPO 法人  
愛知県防災士会  
理事長 寺島 一 徳

さて、今年入り震度5弱以上の地震は東北地方を中心に石川県能登地方でも発生を  
しています。

気象庁は2022年の後半から、これまでは「最大震度5弱以上」を予測した地震に  
ついて、震度4以上が想定される地域を対象としていましたが、4段階ある長周期地震  
動の「最大級3以上」を予測時にも、階級3以上の想定地域に発表する、新たな基準を  
設けた緊急地震速報の運用を始め、地震への警戒を呼び掛ける、情報発表が有りました。

この2年間、「スキルアップ研修等」が開催で来ませんでしたでしたが令和4年度は感染防止  
に配慮して、研修委員を中心に開催して参りたいと思います。

今年度も、愛知県防災士会は少しでも多くの地域の方に災害時の防災意識を高める啓  
蒙活動を続け、皆様と共に進んでまいりますのでご支援・ご協力をお願いします。

---

### 会報誌 27号 目次

P1…理事長あいさつ

P2…総会 質問・要望等

P3…理事の紹介

P5…スキルアップ研修会

P7…活動通信

P8…スキルアップ研修会の案内

---

## 令和4年度通常総会 質問・要望等

- ブロック単位での体制が整っていないこともあり横のつながりがとれていない。  
→現状体制が整っていないことはお詫び申し上げます。  
会報誌にて現状の活動報告等を掲載させていただいているが、年2回しかできていない状況。今後改善に努めていきたい。
- 連絡したいことがあっても連絡先がなく困っている。  
→事情により事務局長が不在ため、事務局との連絡がとれずお詫び申し上げます。  
専属雇用をするための人件費もなく本部のような対応はできないが、早急に事務局を機能できるように努めていきたい。
- 今、災害が発生したらどうするのかを第3号議案に載せるべきではないか。発災したら、どう行動するのですか  
→愛知県防災士会の新体制により本日の午後、理事会を開催します。新役員を含めた上で、検討し、お応えしていきたいと考えている。
- 個人情報の問題もあるが、掲載に同意いただける会員については名簿一覧を作成してはどうか。  
→会員に郵送にて名簿作成についてご意向を確認し、名簿一覧の作成を検討する。
- 実技の研修を実施してほしい。  
→近年はコロナの影響で実施できなかった。  
今後は研修委員、アドバイザーの力を借りながら企画していく。
- 予算書の1200円×250名とは何か。  
→本部登録の会員に対する、支部活動助成金です。
- 総会にて規約、会則は提示すべきではないのか。  
→全会員に郵送済みの為、総会では提示していない。  
今後、検討することとする。



## 理事の紹介

参与 倉知 彰治

今までの引き続き、組織全般の指導、助言が役割ということですね。新しい感覚で頑張っていきたいと思います。私の出来る範囲でベスト尽くします。宜しくお願い致します。以上

理事長 寺島 一徳

NPO法人愛知県防災士会理事長の寺島一徳でございます。今年度より、3期目となりました。コロナ過で2年間は活動が停滞しましたが、感染防止に配慮し、研修委員を中心にスキルアップ研修等を開催して行きたいと思います。開催時には参加をお願いします。今後ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

副理事長 手塚 哲郎

副理事長をさせていただきます。郵便局長時代に防災士の資格を取り、愛知県支部設立（平成18年）からたずさわっています。キャリアだけは長いですが、「学ぶ」ことは「まねる」ことをモットーに研鑽に努め、スキルアップをしていきたいと思っています。

副理事長 宮澤 昌嗣

濃尾平野は桑名・養老断層が伊勢湾断層に沈み込む東高西低の地盤構造です。この地形の木曾三川の河口近く桑名市長島町に住んで40年。同じゼロメートル地帯で活動する周辺市町村の防災士仲間と連携して防災・減災・忘災啓発～自助、共助、「互助」に取り組んでいます。

事務局長・財務委員長 槌岡 宏行

会員皆さまからのご意見に耳を傾け、愛知県防災士会の運営に役立てるよう、一生懸命努めてまいります。また、NPOとしての社会貢献や現在500名強の会員数を拡大できるよう、役員一丸となって取り組んでまいります。

事務局次長・財務副委員長 喜多村 庸平

名古屋市在中の喜多村でございます。地域の皆さまにお役にたてるよう、防災を学び知識向上に努めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

研修委員長 小塚 達也

私は、自助防災力=サバイバル力との考えを基に一般の方向けの防災教室を実施しています。防災士となられた皆さんも一般向け講習会講師となり、一緒に防災の輪を広げ、防災士の知名度アップをして行きましょう。

広報委員長 原田 友子

2005年に防災士の資格を取得、大災害時に生き延びるには何が必要かを多くの方々に伝えて行きたいと、学習を続けています。居住地の「あいち防災リーダー会一宮支部」にも加入しています。

組織委員長 加藤 和久

防災士番号 4519です。寅年生まれの72歳です。6月に4回目のワクチン接種済です。ドラゴンズファンで演歌が好きです。春日井市で生まれ育ちました 健康第一です。

広報副委員長 広瀬 一行

父の介護に役立てばと思い、平成14年に福祉用具専門相談員の資格を得たのが私のボランティア人生の始まりです。その後、民生委員を含め数多くの福祉団体で活動を続けています。

組織副委員長 石垣 辰夫

当会は、平成18年4月創立と同時に入会して16年が経過しました。令和3年度は、組織委員として防災備品リスト・頒布品在庫を調査作成し、総会議案書に添付しました。令和4年度は、ブロック化を目指し7ブロックの名簿作成を推進します。

研修委員 近藤 斎

研修委員を担当します、一宮市の近藤です。防災士の皆様方の防災スキル向上に役に立つように月に1度の防災研修会を実施して行きたいと思っています。 応援を宜しくお願いします。

研修副委員長 小林春代

蒲郡市出身・在住。三河地震、伊勢湾台風体験。「もしもの時 市民の誰もが悔いのない判断と行動が取れる生命力を」と「気候風土」「住む人」「襲う災害」「生命の守り方」を「知ってて」と啓発活動中。

広報委員 伊藤 知恵

この度、理事に復帰しました名古屋ブロックの伊藤知恵です。防災の道に平成14年から…防災士愛知県支部立ち上げに関わり、思えば月日が経ちました。各地で普通に災害が起こるようになり新しい啓発を模索中、皆様と共に啓発を担えたら幸いです。宜しくお願い致します。

組織委員 大塚正寿

私は、1960年生まれ、61歳です。防災士歴は5年、普段は名古屋市のボランティアコーディネーターとして緑区で防災啓蒙活動をしています。

監事 荻原 建二

監事に選任いただきました荻原でございます。

日頃は郵便局長として勤務する傍ら、地域防災に少しでもお役立てできるよう、情報収集とスキルアップに励んでいきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

監事 河合美恵子

東三河ブロック、豊川市在住です。

研修等、なかなか出られない方も多いので、地区に持ち帰り防災士のレベルアップにつなげていければと思っています。

## 防災士 スキルアップ 研修会

日 時 令和4年4月9日(土) 10:00~12:00  
場 所 東特会館 4階 会議室  
参加者 防災士25名  
講 師 愛知県防災士会 防災アドバイザー 小塚 達也

寺島理事長 あいさつ

新型コロナウイルス感染症の蔓延で1月29日(土)の開催予定が本日となりました。しっかり学び各地で皆さんが教室等を開催される一助となることを願います。

小塚アドバイザーの講義開始

配布資料はA4、1枚にタイトル5項目のワンペーパーで話を進める。

- 1 防災士として、参加者に防災をどう伝えるか？
- 2 参加者にどうやって講習の輪に入ってもらえるか？
- 3 参加者にどう開催している防災教室を楽しんでもらえるか？
- 4 何をどう体験してもらえるか？
- 5 講師としての準備

会場設営は教室方式ではなく円形にして、お互いの顔が見え意見交換出来るようにして参加者からの意見を引き出す方式とする。

意見を交換する中で、防災のノウハウを色々取り交ぜて説明する。  
命の5要素や時間3つの法則など自助の大切さを1番に。

- 1 防災士として、参加者にどう伝えるか  
防災の伝え方は防災に関心のない人が興味を持ち自分の事として考えてもらうヒントを出すこと。  
防災教室→知識として知っているが→やって見て出来ない！  
非常食「食べたことありますか？」「トイレ一日何回行く」のように質問し参加者がそれぞれ考える。コーチング手法を使用。
- 2 参加者にどうやって講習の輪に入ってもらえるか？  
講習の輪に入りやすくするために参加者はニックネームの名札を、講師は先生ではなく進行役で同じ仲間(チーム)でありニックネームの「隊長」として導く。
- 3 参加者にどう開催している防災教室を楽しんでもらえるか？  
楽しい防災教室は参加者全員を巻き込み自分の命を守る方法、自助の大切さを他人事ではなく、自分の事としてそれぞれの意見が飛び交い参加したと充実感を味わわせる事、参加者が楽しいと感じると次回への講習の輪が広がる。

#### 4 何をどう体験してもらうか？

何を体験してもらうかは参加者の年齢や経験によって変化をつける。

子供（学生）向けなら防災運動会→タンカ作りや救助者支援ゲーム等  
防災に関わる競技を盛り込む等ゲーム感覚で。

成人なら食事（非常食の試食やパッククッキング）や簡易トイレ制作などの実技を。

#### 5 講師としての準備

講師としての準備は一つの単元は10分以内

台本はしっかり作って講習会を開催して下さい。

参加者に考えさせる（想像）時間も必要である。そして時間の配分はゆっくり、たっぷり、時間をかけて。

時間切れ大いに結構。続きはまたね、で終わる。

今回の研修も出席者の意見をその都度聞き、それぞれの方の活動へのアドバイスをされて、資料等が多くある場合は最後に配るようにと話されました。情報は今やネット等で沢山入手できます。

最後に防災で一番大切なのは自身の体力作りですと締めくくる。

原稿（原田）

# 防災の基本介護に関わる防災～災害時の必要な知識と行動～

日時 令和4年7月7日(木) 13:30～16:30  
場所 住友生命名古屋ビル内会議室  
参加者 防災士19名  
講師 愛知県防災士会 防災アドバイザー 小塚 達也

2022年7月7日住友生命名古屋ビルにおいて実施した、公益財団法人 介護労働安定センター 愛知支部の令和4年度短期専門講習で配布した資料です。(罫線以下)  
約3時間の講習、前半は資料を配付せず参加者の皆さんに災害が発生した場合を想像してもらい、自ら災害にどのように対処していくのかをシュミレートして頂きました。  
後半は、被災した介護対象者へのアプローチの仕方や方法を東日本大震災の事例を交え、お話しさせていただき、Q&Aで終了致しました。

## 防災士は知っている!! ～非常災害時に必要な知識と行動

- 災害 予測できる災害 …… 台風・集中豪雨・土砂災害・大雪など… 時間的余裕もあり対応が可能  
予測できない災害 … 地震 … 全く予測が出来ない… 日頃からの準備が必要  
この地方で発生が危惧されている「南海トラフ地震」。M8～9(震度7強)クラスで、範囲は宮崎県から神奈川県の大平洋側と広範囲に被害を及ぼすと予測されています。更に連動し首都直下地震が起きれば、国の機能までもストップする可能性も考えられます。30年以内の発生確率は70～80%と令和4年6月7日の気象庁地震火山部で報告されています。

- 災害が発生すると  
ライフラインが止まる。(電気、ガス、水道、通信、交通)、街の環境が変わる、物資が不足  
病気が蔓延するなど、生活が一変する。

日頃からの準備



- 何をすればいいのか? 自助能力の習得と資機材(最低7日間生き長らえるための食料などの資材)の準備
- 自助能力って何? 自分自身が生きていくための知識と知恵、そして技能。(サバイバル能力)
- 自分の行動範囲内の災害被害予測を知っておく  
ハザードマップ(地震、洪水、内水、津波、火山の種類がある)を見て対応策を考える。

### 介護関係者としての日頃の準備と行動

- 日頃より介護対象者への「防災伝道師」であると思い行動しよう。  
介護対象者の発災時から被災までを想定したシュミレーションで資機材の準備提案をしましょう。
  - ・防災用品の準備 … 必ず介護対象者の方が使用できる物なのか、使用体験を実施。
  - ・防災用品の点検 … 賞味期限や消費期限の確認。季節物の入替えなど。
  - ・非常食の準備 …… 介護対象者の方が調理し食べられるのか、試食の実施。
  - ・飲料水の準備 …… 介護対象者の方が取扱いやすいサイズにする。
  - ・トイレの対応 …… トイレの始末ができるか確認。水洗が使用できない可能性が高い
  - ・最悪時の対応 …… 家や施設に留まれない状況になった時の対応準備。

訪問介護であれば、同居の健常者も含め、非常事態に備え防災に関する準備や点検などを一緒にしてみよう提案しましょう。  
介護対象者の部屋の家具転倒の予防策として、家具転倒防止対策の提案もしましょう。

### まとめ

介護対象者の介護程度は多岐に渡ります。そのため個々に防災対策をしなくてはなりません。生きるための基本を知り、日頃から準備しましょう。特になんの予兆もなく、予知の難しい地震をメインにおいた防災準備をしておけば、あらゆる災害にも対応できます。防災について日々バージョンアップされていますので、情報にはアンテナを張っておきましょう。

原稿 (小塚)

## スキルアップ研修のご案内

日 時 令和4年9月23日（金・祝）10:00～15:30  
午前のみ、午後のみ参加自由。内容は後日発表。

### 「編集後記」

広報の役割は防災士の仲間の皆さんの活動をネットワークとしてつなげる事。皆さんの活動報告の場となり、広く社会へ防災士の活動をPRして行きたいと思います。まずは「防災士として自分を守り人を守る」自助として足腰を鍛えます。より充実した会報誌を作る為会員の皆さまの声をお待ちしています。（友）

#### 投稿募集

「会員の活動通信」では、会員の皆さんが日頃より実践している防災活動のノウハウなど防災に関する情報を募集しています。下記アドレスまでお寄せください。お名前、ご連絡先、防災登録ナンバーをご記入の上、ご投稿ください。  
gogobousai@gmail.com

### ～日本防災士会会員の活動理念～

- 第1 日本防災士会会員（以下「会員」という）は、地区防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与することを活動の基本理念とする。
- 第2 会員は、地区の防災活動に参画し、災害の事前対策、応急対策等、地区防災活動計画の策定・実施に関し、指導的役割を果たすものとする。  
そのために、次の事項に積極的に取り組むものとする。
  - 1 会員相互のネットワークを構築し、協力関係を確立すること。
  - 2 地区防災活動のリーダーにふさわしい防災知識・技能の研さんに努めること。
  - 3 自治体との緊密な連携を図ること。



## ～日本防災士会 倫理規定～

### 第1条（使命）

会員は、社会の防災力向上を目指す者として、その名誉を重んじ、社会的信頼が得られるよう努めなければならない。

### 第2条（研鑽）

会員は、日本防災士会及び自己の活動に対する批判、評価等に謙虚に受け止め、自己の研鑽につとめるものとする。

### 第3条（公平不偏・客観性）

会員は、自己の利益や特定の者の利己的な要求に迎合することなく、常に防災に対する啓発と被災者支援の立場で公平不偏な姿勢で取り組み、客観的かつ総合的に判断し行動する。

### 第4条（相互協力）

会員は、防災活動に積極的に参加し、情報と経験を共有し相互に協力しあい、誠意をもって遂行する。

### 第5条（名誉と信義・自律）

会員は、常に防災知識に対する自己研鑽に努め、技術の向上により防災士としての名誉を重んじ、公平無私の立場で、専門的で且つ規律ある態度で行動し、いやしくも信義にもとるような行為を行ってはならない。

1. 会員は、日本防災士会や防災士に対する信用を損ねかねない行動を行ってはならない。

### 第6条（秘密保持）

会員（退会後も）は、他の防災士並びに活動中に知りえた個人情報などを漏らしてはならない。

### 第7条（地位利用の禁止）

会員は、自己の立場を利用して自己また第三者の利益を図るような行為をしてはならない。

### 第8条（通知）

会員は、他の会員にこの倫理規定に違反する行為があり、あるいはその疑いがあることを知った時は、日本防災士会に通知する。

### 第9条（再発防止）

会員は法令、社会規範を守り違反行為の再発防止に努めなければならない。

### 第10条（倫理審査会の設置）

会員に会則、倫理規定に違反する行為があった場合は会則第10条の専門部会に準拠する方法で倫理審査会を設置する。

### 第11条（規定の改廃）

この規定は、幹事会の承認を得て改廃することができる。

（附則） この規定は平成20年6月8日より施行する。



NPO 法人 愛知県防災士会  
広報委員会 編纂

〒453-0013

名古屋市中村区亀島1丁目11-14

東特会館内

